

経済動向調査のまとめ

令和元年06月値

令和1年9月2日 発行

この景気動向調査のまとめは、下記の実施機関の調査資料をまとめたものです。

会員事業所の経営計画等の判断にご活用いただければと思います。

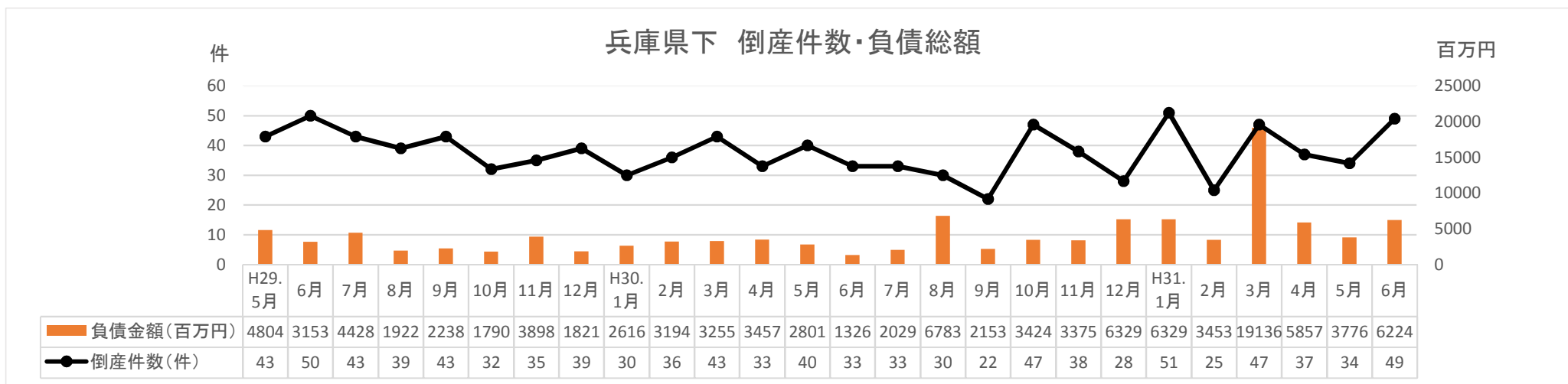
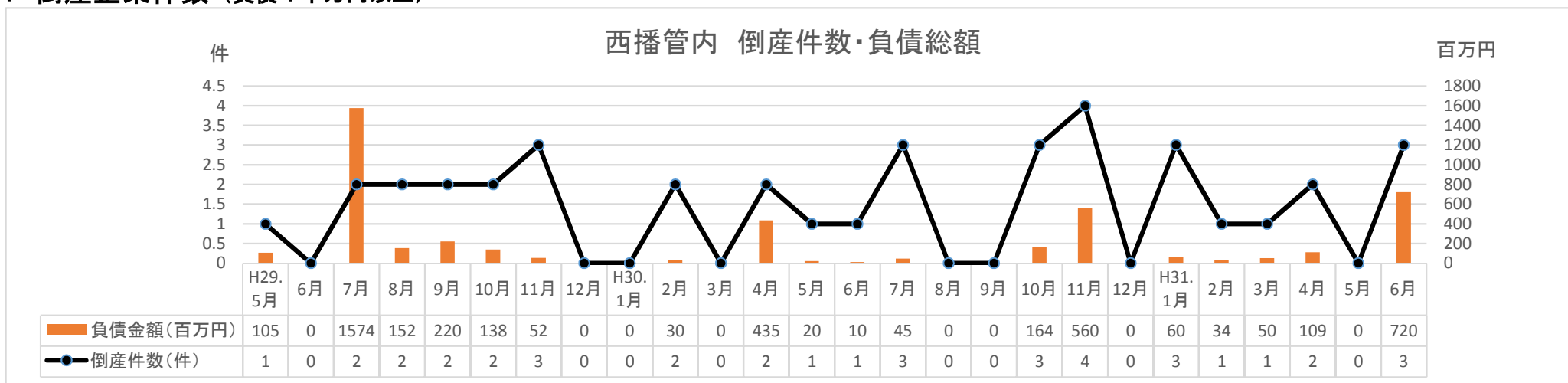
※業種別等の詳細資料をご希望の方は、商工会事務局(TEL 0790-82-2218)へご連絡ください。

経済動向調査 参照元

調査資料	実施機関	調査対象	数値時期
地域経済景況調査	兵庫県西播磨県民局	西播磨県民局管内	H31.06
全国中小企業動向調査(小企業データ)	日本政策金融公庫	小企業(6,458社)	R01.04~06
小規模企業景気動向調査	全国商工会連合会	全国300商工会の調査	R01.06
にしん景況レポート	西兵庫信用金庫	西播磨地域 101社	R01.04~06

佐用町商工会

1. 倒産企業件数（負債1千万円以上）



【参照元：西播磨県民局 地域経済景況調査 西播磨の経済指標】

西播磨管内

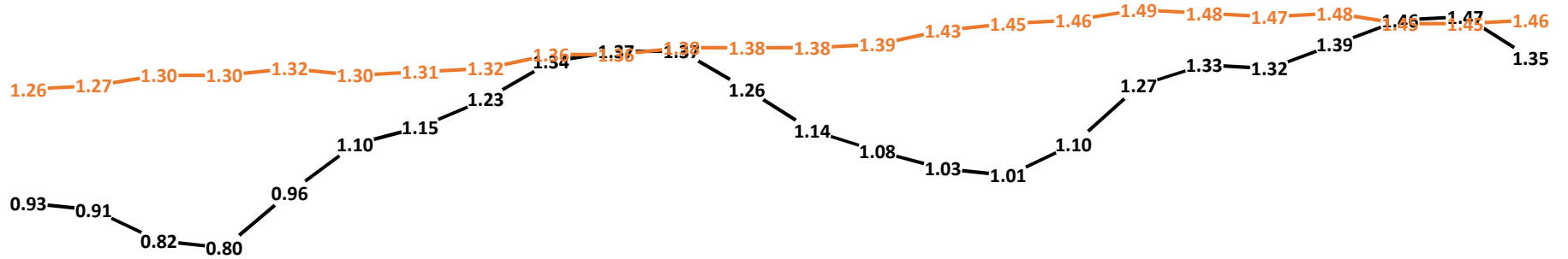
西播磨の6月の企業倒産件数は3件（前年同月1件）となっている。
西播磨の6月の負債総額は7億20百万円となっている。（前年同月10百万円）

兵庫県下

県下の6月の企業倒産件数は49件（前年同月33件）となっている。
なお、県下の6月の負債総額は、62億24百万円（対前年同月比369.4%増）となっている。（前年同月13億26百万円）

2. 西播磨の有効求人倍率の推移

西播磨の3月の有効求職者数は、3, 216人、有効求人数は4, 357人で、有効求人倍率は1.35倍。
 なお、兵庫県全体の有効求人倍率（季調値）は1.46倍で対前年同月比で0.2ポイント上昇した。



	H29.0 4	H29.0 5	H29.0 6	H29.0 7	H29.0 8	H29.0 9	H29.1 0	H29.1 1	H29.1 2	H30.0 1	H30.0 2	H30.0 3	H30.0 4	H30.0 5	H30.0 6	H30.0 7	H30.0 8	H30.0 9	H30.1 0	H30.1 1	H30.1 2	H30.0 1	H30.0 2	H30.0 3
龍野職安	0.93	0.91	0.82	0.80	0.96	1.10	1.15	1.23	1.34	1.37	1.37	1.26	1.14	1.08	1.03	1.01	1.10	1.27	1.33	1.32	1.39	1.46	1.47	1.35
兵庫県	1.26	1.27	1.30	1.30	1.32	1.30	1.31	1.32	1.36	1.36	1.38	1.38	1.38	1.39	1.43	1.45	1.46	1.49	1.48	1.47	1.48	1.45	1.45	1.46

【参照元：西播磨県民局 地域経済景況調査 西播磨の経済指標】

有効求人倍率とは、「求人数（仕事の数）」を「仕事をしたい人の数」で割ったものです。
 これは、世の中にどれくらい求人（仕事）があって、それにどれくらい応募（仕事をしたい人）があるかを表しています。
 たとえば、仕事の案件が100件あり、そこに200人応募していたら、有効求人倍率は「0.5」になります。
 逆に、求人募集が200件あって、それに応募する人が100人しかない場合、有効求人倍率は「2」になります。

D I 値とは-----

例えば、売上額D I の場合、経営者等に売上状況を、(1) 良い(2) やや良い(3) 普通(4) やや悪い(5) 悪いの5段階により調査します。

その回答が、(1) 良い 10% (2) やや良い 15% (3) 普通 35% (4) やや悪い 15% (5) 悪い 25%だったとすると

$[(1) 10\% + (2) 15\%] - [(4) 15\% + (5) 25\%] = [25\%] - [40\%] = \Delta 15\%$ --- DI値

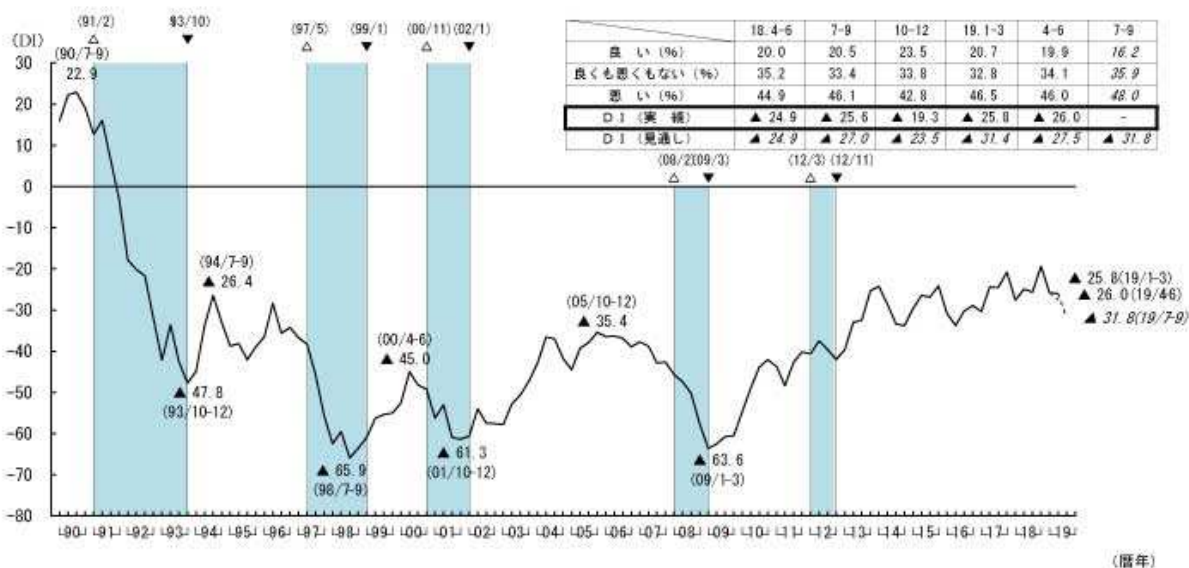
DI値 $\Delta 15\%$ とは、「良い」という回答より「悪い」と回答した経営者が15%多いことになる。

ただ、DI値は結果数値なので、「良い」「悪い」水準比較も必要である。

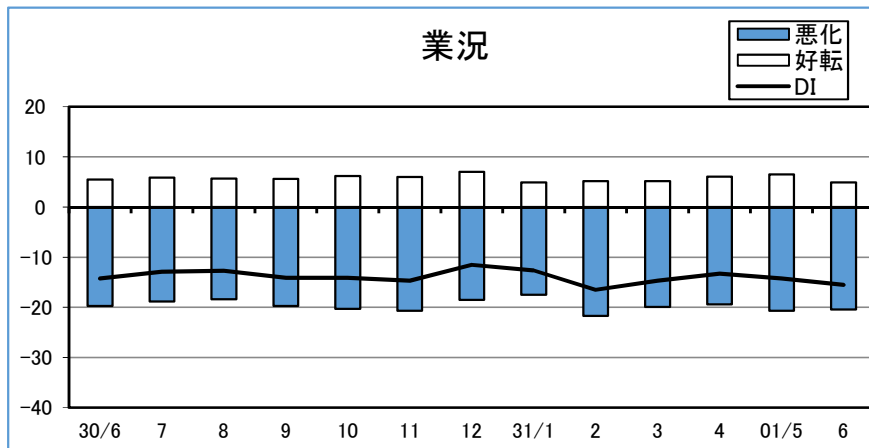
3. 業況

- 今期の業況判断DI（全業種計）は、前期（2019年1～3月期）からほぼ横ばいの▲26.0となった。
- 末期は、マイナス幅が拡大し、▲31.8となる見通しである。

図-1 業況判断DIの推移（全業種計）



【資料】(株)日本政策金融公庫総合研究所 全国中小企業動向調査



年/月	好転	悪化	DI
30/6	5.5	-19.7	-14.2
7	5.9	-18.8	-12.9
8	5.7	-18.4	-12.7
9	5.6	-19.7	-14.1
10	6.2	-20.3	-14.1
11	6.0	-20.7	-14.7
12	7.0	-18.5	-11.5
31/1	4.9	-17.5	-12.6
2	5.2	-21.7	-16.5
3	5.2	-19.9	-14.7
4	6.1	-19.4	-13.3
01/5	6.5	-20.7	-14.2
6	4.9	-20.4	-15.5

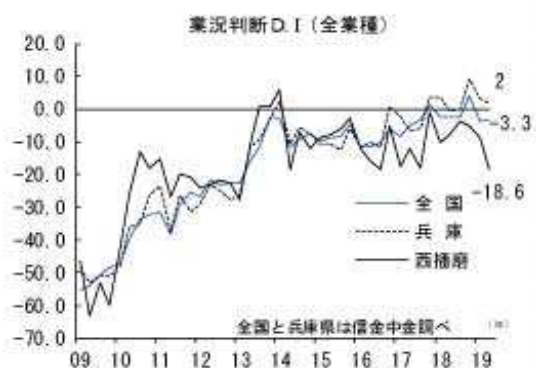
◇…製造業・サービス業の悪化が響き、2か月連続の悪化となった小規模企業景況…◇

6月期の小規模企業景気動向調査は、産業全体の資金繰りDIがわずかに改善したものの、それ以外の業況DI、売上額DI、採算DIは悪化した。特に、製造業・サービス業の悪化幅が大きかった。昨年の西日本豪雨のような大規模な被害こそ無かったが、北陸地方、九州南部を中心に大雨が目立ったのをはじめ、全国的に天候不順が続き、野菜価格の高騰が生じている。また、米中の貿易摩擦や6月末に表出した韓国向け輸出管理等、国際情勢の先行き不安や10月の消費増税に向けた動きを取り上げたコメントが目立った。

【資料】全国商工会連合会 小規模企業景気動向調査

～景況感は低下～

2019年4～6月期（今期）の業況判断D.I.は▲18.6と、前期比 9.8ポイント低下した。前期に比べ業況が「良い」と回答した企業の割合が4.0ポイント低下した一方、「悪い」と回答した企業の割合が5.5ポイント上昇したことによる。前年同期比の売上額判断D.I.は0.0と前期比1.0ポイント改善し、同収益判断D.I.は▲5.9と前期比2.9ポイント改善した。業種別の業況判断D.I.は、小売業で改善し、製造業・卸売業・サービス業・建設業で低下した。不動産業は横ばいであった。



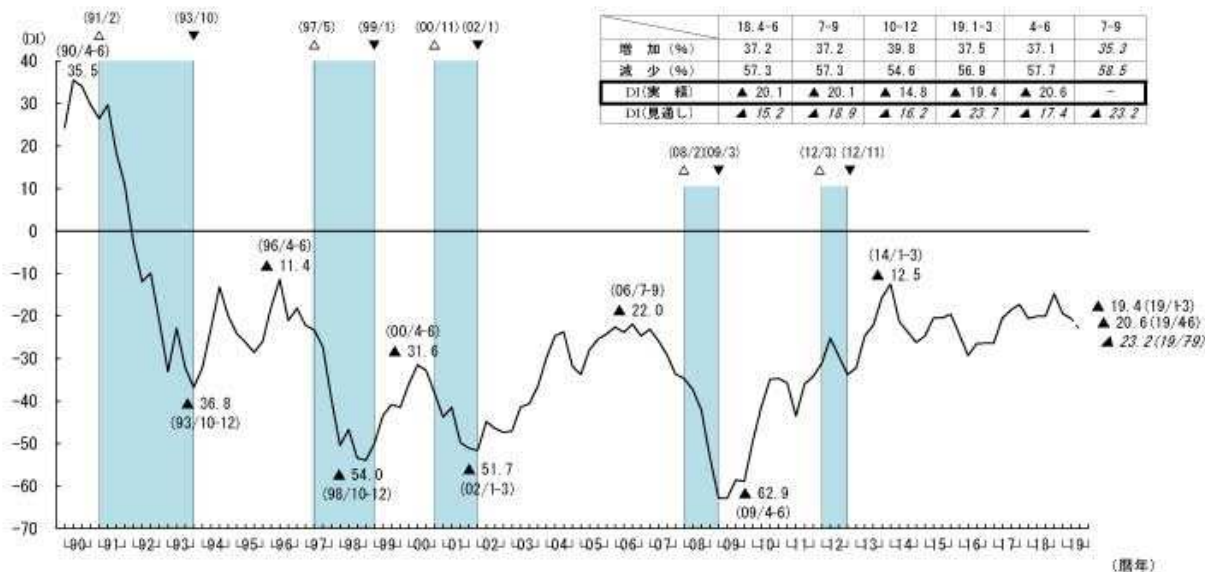
【資料】西兵庫信用金庫 にしん景況レポート

4. 売上

○ 今期の売上DI(全業種計)は、前期からマイナス幅が1.2ポイント拡大し、▲20.6となった。

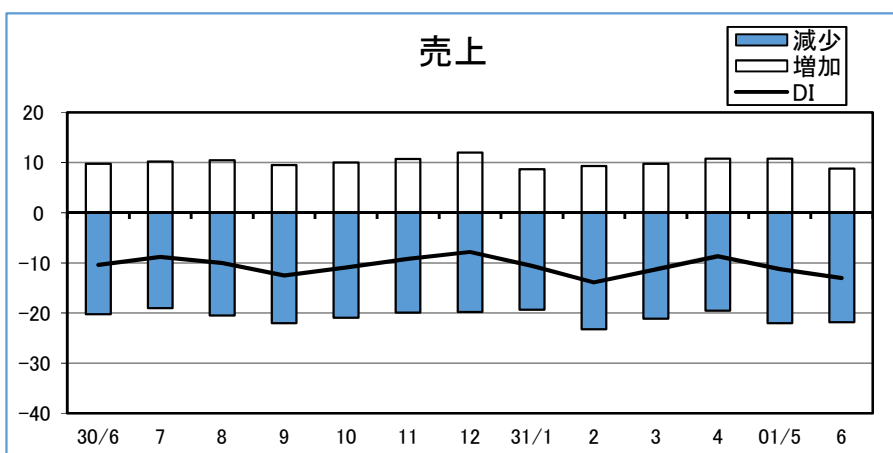
○ 来期も、マイナス幅が拡大する見通しである。

図-4 売上DIの推移(全業種計)



【資料】(株)日本政策金融公庫総合研究所 全国中小企業動向調査

売上



年/月	増加	減少	DI
30/6	9.8	-20.2	-10.4
7	10.2	-19.0	-8.8
8	10.5	-20.5	-10.0
9	9.5	-22.0	-12.5
10	10.0	-20.9	-10.9
11	10.7	-19.9	-9.2
12	12.0	-19.8	-7.8
31/1	8.7	-19.3	-10.6
2	9.3	-23.2	-13.9
3	9.8	-21.1	-11.3
4	10.8	-19.5	-8.7
01/5	10.8	-22.0	-11.2
6	8.8	-21.8	-13.0

【資料】全国商工会連合会 小規模企業景気動向調査

前年同期比の売上額判断D.I.は0.0と前期比1.0ポイント改善し、同収益判断D.I.は△5.9と前期比2.9ポイント改善した。

～販売価格判断D.I.は改善・仕入価格判断D.I.は上昇～

販売価格判断D.I.は0.0と、前期比5.9ポイント低下した。仕入価格判断D.I.は、27.5と前期比横ばいであった。

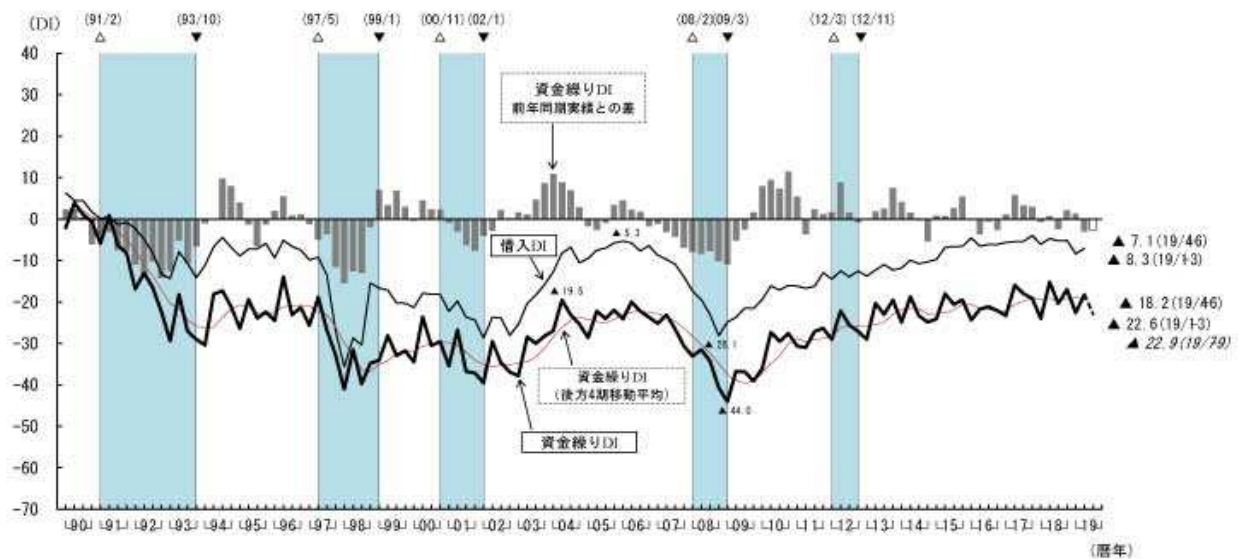
グラフ無し

【資料】西兵庫信用金庫 にししん景況リポート

5. 採算

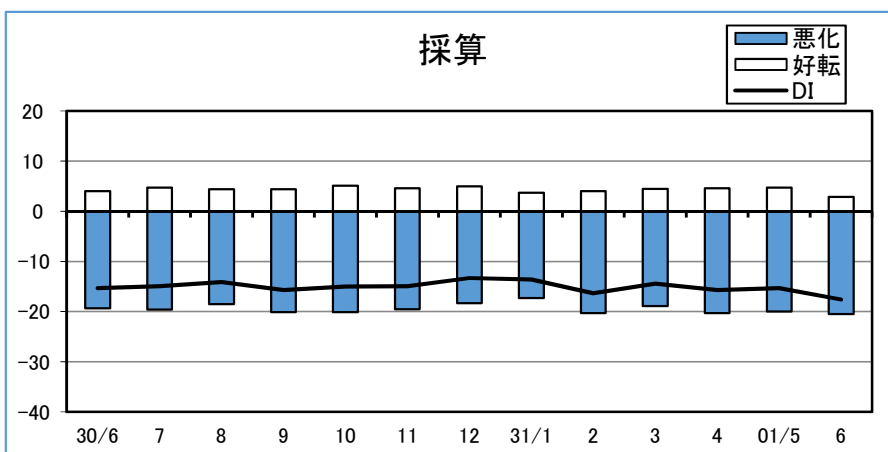
- 今期の資金繰りDI（全業種計）は、前期からマイナス幅が4.4ポイント縮小し、▲18.2となった。来期は、マイナス幅が拡大する見通しである。
- 民間金融機関からの借入状況（全業種計）をみると、今期の借入DIは、前期からマイナス幅が1.2ポイント縮小し、▲7.1となった。

図-6 資金繰りDI、借入DIの推移（全業種計）



【資料】(株)日本政策金融公庫総合研究所 全国中小企業動向調査

採算



年/月	好転	悪化	DI
30/6	4.0	-19.3	-15.3
7	4.7	-19.6	-14.9
8	4.4	-18.5	-14.1
9	4.4	-20.1	-15.7
10	5.1	-20.1	-15.0
11	4.6	-19.5	-14.9
12	5.0	-18.3	-13.3
31/1	3.7	-17.3	-13.6
2	4.0	-20.3	-16.3
3	4.5	-18.9	-14.4
4	4.6	-20.3	-15.7
01/5	4.7	-20.0	-15.3
6	2.9	-20.5	-17.6

【資料】全国商工会連合会 小規模企業景気動向調査

～販売価格判断D. I. は改善・仕入価格判断D. I. は上昇～
販売価格判断D. I. は0.0と、前期比5.9ポイント低下した。仕入価格判断D. I. は、27.5と前期比横ばいであった。

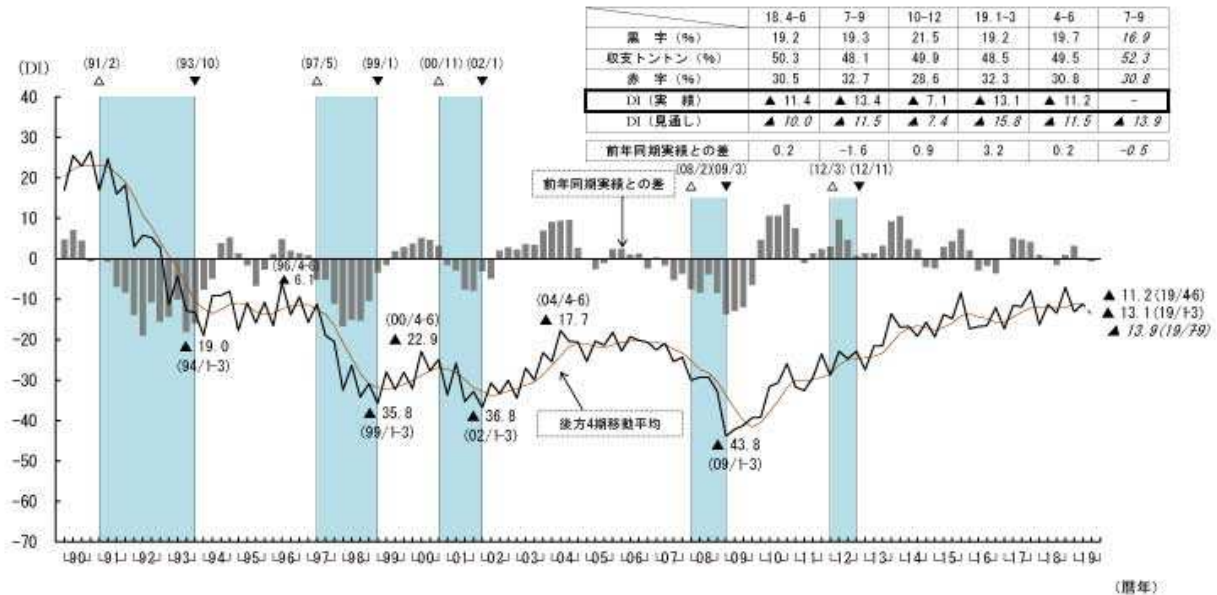
グラフ無し

【資料】西兵庫信用金庫 にししん景況リポート

6. 資金繰り

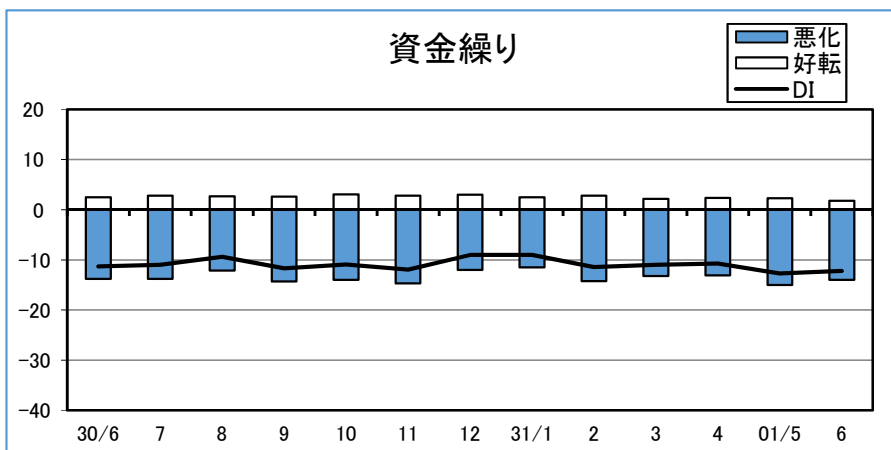
- 今期の採算DI(全業種計)は、前期からマイナス幅が1.9ポイント縮小し、▲11.2となった。
- 来期は、マイナス幅が拡大する見通しである。

図-5 採算DIの推移(全業種計)



【資料】(株)日本政策金融公庫総合研究所 全国中小企業動向調査

資金繰り



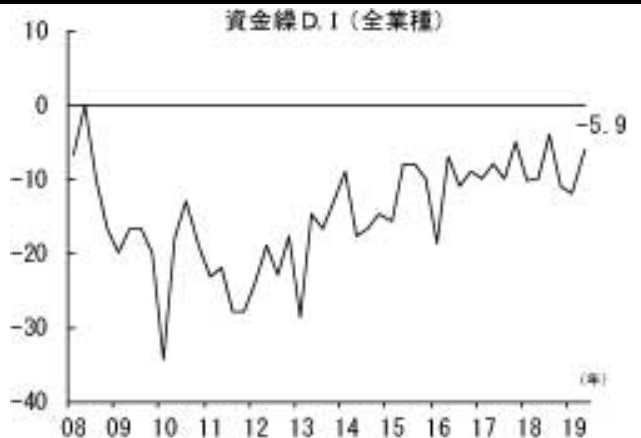
【資料】全国商工会連合会 小規模企業景気動向調査

～資金繰り判断D.I.は低下～

資金繰り判断D.I.は▲5.9と、前期比5.9ポイント改善した。

業種別では、製造業が前期比3.8ポイント、卸売業が同9.1、サービス業が同5.2ポイント、建設業が同16.7ポイント、不動産業が同20.0ポイント改善した。

一方、小売業が5.9ポイント低下した。



【資料】西兵庫信用金庫 にしん景況レポート